

昭和44年3月

平城宮発掘調査出土木簡概報

(六)

奈良国立文化財研究所

「平城宮発掘調査出土簡牘報」(六)訂正表

頁	段	行	誤	正
3	下	10	「陰陽寮 □ ^x □ ^x 百八十人 □ ^上 上大宅朝臣 「神前郡□ ² 贊門 「丹後國□ ^後 郡 「人夫矢田マ未呂 「丹後國 「長門國大津郡中男 「：伍而□ ^x 養老三年□ ^x 」	「陰陽寮 □ ^立 □ ^丁 百八十人 □ ^後 上大宅朝臣 「神前郡□ ^御 贊門 「丹後國□ ^後 郡 「人夫矢田マ未呂 「丹後國 「長門國大津郡中男 「：伍而□ [」] 養老三年□ [」] 」
3	下	11		
3	下	14		
6	下	6		
6	下	7		
8	上	9		
8	上	11		
8	下	14		
8	下	1		
8	下	3		
8	下	4		
8	下	5		

養老

元

6ADC-SD

051

031

6ADC-SD6155

この概報は さきに公刊した「平城宮発掘調査出土木簡概報(五)」(昭和43年2月)以後、平城宮の発掘調査で出土した木簡についてその主要なものを収録した。これらの木簡は第43・44・50・52次の各発掘調査地区から出土したもので、総点数は9の余点である。

以下、木簡出土の地点と状況および形態分類をのべ、本文を掲げる。

一 木簡出土の地点と状況

第43次調査(SALSⅡ)昭和42・9・18～同43・4・18

この調査は第39次発掘調査で明らかにした東一坊大路に南面する宮門内で行なった。調査区は大きく東西の二区域に分かれる。東半部は平城宮東張り出し部に存すると推定している東院(東宮玉殿)西端にあたり、西半部は南面宮門内のあき地である。木簡はこのあき地を南北に縦走する溝(SD4951)から出土した。

この溝は上層と下層に分かれる。下層溝は幅約1mあり、兩岸を小杭と側板とで土どめする。上層溝は幅約6mに拡張改修したもので

下流で流路を西にかえる。木簡は下層溝から出土した。また、「縫物所」・「津守王」・「神龜」などの墨書土器もある。(『奈良国立文

化財研究所年報1978』参照)

第44次調査(SALF・SALGⅡ)昭和42・11・20～同43・5・17

この調査は東張り出し部の東南隅を検出するために行なった。その結果、宮域はかつての推定より東へ約290m張り出していることを確認できた。この張り出し部の中には池とそれにのぞむ建物、玉石溝の曲流する溝などをそなえた庭園遺構があり、東南隅には掘立柱の隔棧がそびえていたらしい。南に接する条間大路の路面幅は18mある。その南の側溝は三回修復をうけている。

木簡は条間大路南側溝(SD5786・5788)と坊間大路西側溝(SD

5780・5781)から出土した。大垣附近では緑釉軒丸瓦、三彩釉平瓦が出土している。(『奈良国立文化財研究所年報1978』参照)

(1)

この調査と従前の附近の調査を総合して、この東張り出し部には東院や楊梅宮の名を記した日本紀などに残している宮殿があったと推定している。

第45次調査(SADDⅡ)昭和43・7・22～同43・10・3

この調査は第45次調査を行なった宮城西面中門(佐伯門)の東北の部分で行なった。その結果、調査区域東部で、この宮衙区域の東限を画すると思われる南北に走る溝(SA5950)および溝(SD5960)

を検出した。この溝は北の第5次発掘調査区域で東におれている。木簡はこの溝から1点出土した。

第5次調査(6ADCⅡ)昭和43.11.28)

この調査は宮城西大垣の東100m さまの第5次調査の北50mを中心に行なった。調査の結果 第5次調査で見つけた柵の北延長部と築地各一条を検出した。その西では大垣にそった空閑地をかこむように北に5時期にわたる一群7棟 東に5時期 一群10棟の掘立柱建物を検出した。東の一群の建物に近く位置する井戸からは「主馬」の墨書のある土器が出土しており この位置にあった官衙の性格を推定する手かかりとなる。木簡は調査地区の東北隅で築地(SV4450)を切っている東西溝(SD4655)から1点出土した。

二 木簡の形態分類

6011型式 短冊形

6015型式 短冊形で 側面に孔を穿ったもの

6016型式 短冊形と推定できるもの

6021型式 小型矩形のもの

6022型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの

6031型式 長方形の材の両端左右に切りこみをいれたもの

6032型式 長方形の材の一端の左右に切りこみをいれたもの

6033型式 長方形の材の一端の左右に切りこみをいれ 他端を尖らせたもの

6034型式 長方形の材の一端の左右に切りこみがあるが 他端は折損あるいは腐蝕して不明のもの

6051型式 長方形の材の一端を尖らせたもの

6052型式 長方形の材の一端が尖って他端の形態が不明のもの

6061型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの

6065型式 ある種の用途をもつと推定される木製品に墨書のあるもので その用途が判然としないもの

6081型式 折損 腐蝕その他によって原形の判明しないもの

6091型式 削屑

三 凡例

以下 出土遺構ごとに本文を掲げる。各遺構から出土した木簡の配列は用途別に記載し 最上段に出土地点(アルファベット・数字)

FM 55 032 「^(手)藤口東行資」

□首念嶋、秦□^(考)麻呂

津守咋万呂 石作連五百圓」

FN 55 081 「三嶋王 柘……」

FS 55 033 「^(補)前郡高屋里」

「秦蚕一襲」

FN 55 022 「越中国利波郡川上里耐雜」

「腊一斗五升 和銅三年正月十四日」

FM 56 031 「隱岐國周吉郡^{上マ里早マ札師}重布六斤
^{聖龜三年}」

FN 55 081 「山背□山背因……」

「□□□□□□……」

6ALF-SD5781

FO 56 019 「凡官奴婢年六十六以上乃□」

「家官戶家人公私奴婢皆喜□」

FO 56 081 「官官 官人□」

「及廢疾者」

FN 56 011 「□施物惣惣惣」

施他大夫窮惣惣 窮 必必必必必窮窮

施施施施大夫夫 窮窮窮窮字字窮空」

「^(補)糲糲必朋必必 凡凡番長長長凡凡凡

凡化外奴婢軒 凡凡凡凡竟竟竟」

又又又水水水水水 必」

FO 56 019 「右京四條一坊^(合)□□為右京四^(條)□」

「^(庚)歲^(命)□□□□□□□□□□」

FN 56 081 「……十三東廿五^{東廿五}東……」

「王作所一人」

FP 56 081 「天平十九年七月四日使□万呂」

「□□」

FM 56 019 「額田部國麻呂 文子□」

「□□□□□□」

FP 56 081 「下大朝臣德太」

「□□□□□□」

FP 56 081 「位上紀大海」

FN 56 091 「茨田大遊」

FO 56 081 「玉尔有波手尔麻伎母知而□□」

「□□波□加□□□□」

FO 56 081 「大村里大替布奈壹籠」

GALG-SD5785

CJ 65 011 「津嶋蓮生石 春日標人生村 宇太郡

「召急 山部宿祢東人 平羣郡 三宅連豆嶋 山邊郡

忍海連官立 忍海郡 大豆造今志 廣青郡

「刑部造見人 和銅六年五月十日假筆屋

小長谷連赤麻呂 右九 標人大田充食馬

小長谷連荒當 志齊上郡

CJ 67 011 「被申舍人 高橋大嶋 鞆大伴三龍

「掩豆人 台四人」

CJ 66 011 「水司佐 日奉マ阿都佐

「十上丈マ小人 白飯マ古末呂

「今奉マ大末呂 神人マ廣嶋 活人マ五百末呂

「九尔マ刀良 小川マ大末呂

「石寸マ黒奈 九尔マ夜倍右十二

「委文マ忍山 物マ石尼

CJ 69 011 「裝換幣壹佰□拾伍枚

「八年八月九日 注押人□□

CJ 64 011 「見定□伍拾人 當番卅六人 親王宮十人 石上朝臣所八人 内□□一人

「番守七人

CJ 67 011 「仕丁玖拾玖人□□□三人

「十二月十七日辰時奉入人□□人

CJ 61 222 「持鉏四柄

「辰時辰□十九日

CJ 66 081 「日下マ友足奉 九子□

「壹什佐マ宜多尾一升

CJ 71 081 「壹什佐マ宜多尾一升

CJ 66 091 「服部大人」
 CJ 68 019 「山下加良」
 「建マ棕万呂奉」
 「道道」
 CJ 59 081 「護護護頓首」
 「頓首龍麻」
 「龍麻」
 CJ 66 091 「未申百戌子」
 「戌亥子丑寅卯辰」
 CJ 64 081 「下番寮」
 CJ 63 019 「從兵庫持來」
 「三宅部勝」
 CJ 66 039 「雅兼寮奈小宅」
 「坂本東人」
 CJ 63 019 「三日附壬生」
 CJ 64 032 「丈マ臣竹」
 「三正月廿八日」
 「廿一日」

CJ 65 039 「日向國牛」
 CJ 67 033 「日向國牛」
 CJ 71 081 「讚岐國三木郡牟礼里」
 「五斗八升」
 「籍米五斗八」
 CJ 61 039 「倭中國手田」
 「奈マ」
 「奈マ」
 「奈マ」
 「倭中國手田」
 CJ 64 033 「倭前國上道郡揭勢里」
 「人夫矢田マ末呂米五斗八升」
 CJ 60 033 「倭前國邑久郡香止里」
 CJ 63 032 「丹後國」
 「那」
 「那」
 「那」
 CJ 60 039 「神前郡」
 「和銅七年二月十七日」
 CJ 68 022 「尾張國愛知郡」
 「物部里白米」
 「大」
 「二斗」
 CJ 72 032 「句興志」
 CJ 65 081 「九子乃良」
 CJ 59 019 「奈文マ忍山」

AK 58 011

「三申四申小小南野風風」

阿多如多毛口口口口

AK 58 029

「廣口調煮堅與捌介伍西」

養老三年

AK 58 011

「瀧良郡山家郷人宗我部飯麻呂馬」

「天平十八年四月廿三日」

6ADD ML 63 氏淵塚

「志摩國志摩郡手前里戸主大伴部」

「海」
「茶根二斗」
「五年四月廿日」

AL 58 039

「伊豆國那賀郡入間郷美良里物部」

ML 72 031

「若狭國遠敷郡青里戸主素人麻居戸」

「秦人泉安御調檢三斗」

6ADC HB 46 著理士

6ADC-SD

「阿波國阿波郡秋月郷庸米物マ小籠一俵」

AL 58 059

「天平勝寶七歲八月十七日」

AK 58 031

「丹後國熊野郡私部郷高屋」

AK 58 081

「美作國久米郡」

AL 58 032

「長門國大津郡中易作物海添陸斤」

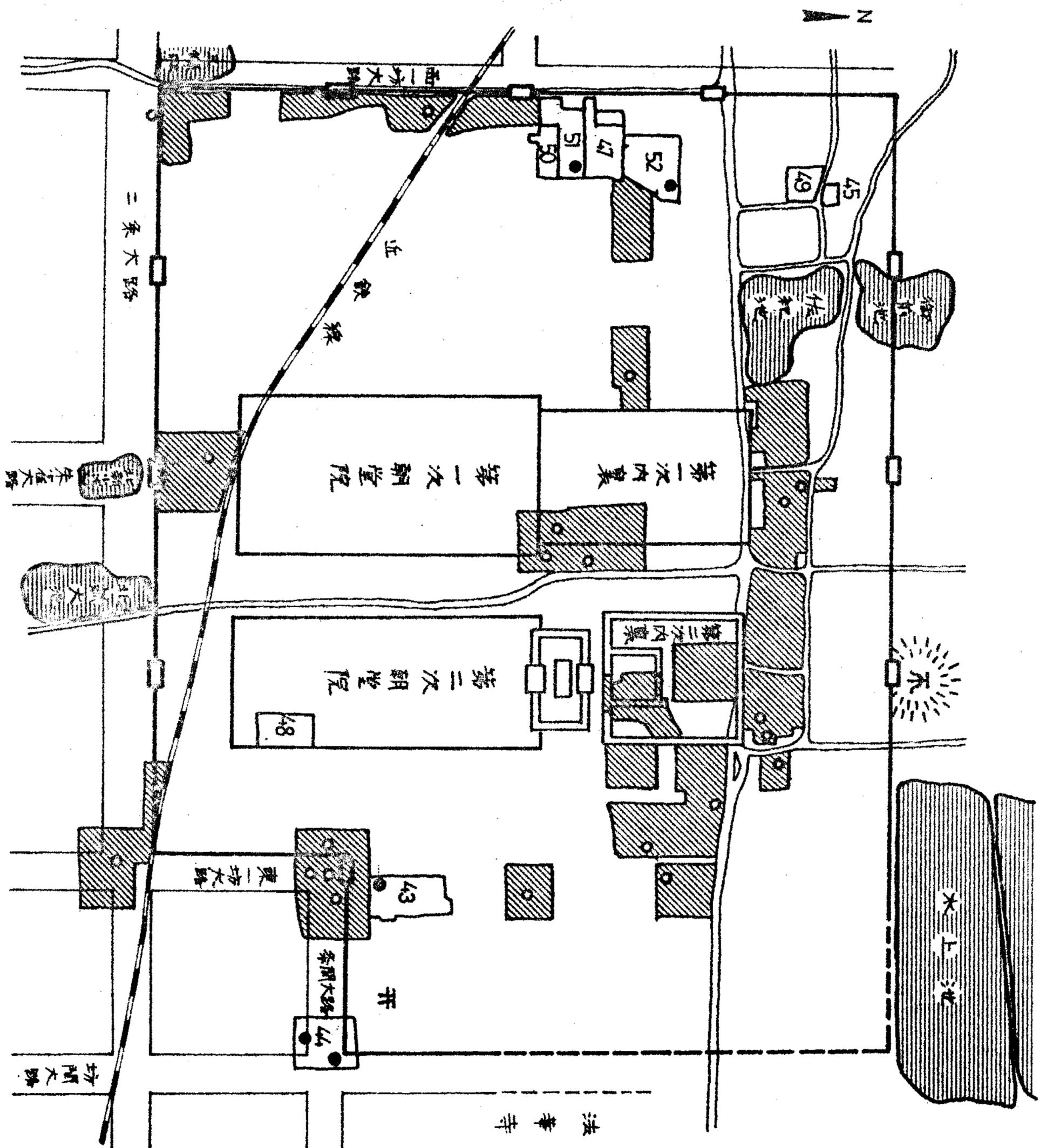
天平九年十一月

AK 58 032

「阿波國那賀郡原郷台米五斗」

「戸主百濟牧夫戸同マ前守」

木簡出土地点略图



- 既出土地点
- 今年度出土地点
- ▨ 既発掘地